伊藤康雄（いとうやすお）

津和会（しんわかい）

屋外スポーツ施設整備の計画は

問　津市総合計画の後期基本計画において屋内スポーツ施設整備や屋外スポーツ施設整備の計画が掲載されている。

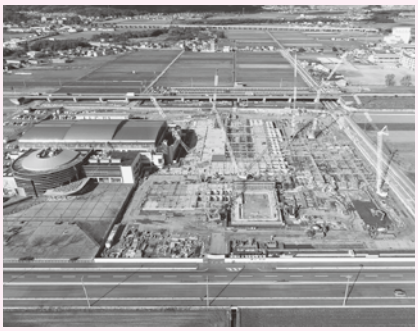
屋内については、通称「サオリーナ」の建設工事が平成29年10月の完成を目途に進められている。

屋外については「屋外型スポーツ施設の整備を検討します」と明記されているが、検討の進捗状況はいかがか。

答　スポーツ施設の整備については、現在、津市スポーツ施設整備基本構想の中間見直しを行っており、その中で県内で開催される平成30年の高校総体や平成33年の国体等を見据えて会場となる施設を優先的に改修、改善を図っていきたいと考えている。また、平成29年10月のサオリーナの供用開始に伴い廃止される津市体育館・津市民プールの跡地利用や（仮称）香良洲高台防災公園のスポーツ施設整備等についてさまざまな声をいただいている。さらに使用頻度が高い既設の施設ほど修繕が必要な状況となっている。このため新たな屋外スポーツ施設については、これらの施設整備等の進捗状況を見ながらスポーツ関係者の方々と相談し、構想をさらに練っていきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○農業委員会等に関する法律の一部改正に伴う関係条例の制定について
○津市の道路行政について
○地籍調査について
○県道三宅一身田停車場線バイパス工事について
- 取り付け道の考えは
- 津関線までの延長の考えは



▲供用開始に向け建設工事が進むサオリーナ

会派代表質問

山﨑正行（やまざきまさゆき）

市民クラブ（しみんくらぶ）

自治会への加入促進にどう取り組むのか

問　昨今、自治会組織（町内会）のあり方について、さまざまな議論がなされる中、加入率の低迷が危惧されている。

高齢化が進む中、地域の災害時等の安全・安心、協働と心の交流が最も重要である。

自主加入が原則ではあるが、地域社会に欠くことのできない自治会の大切さを認識していただくためにも今後行政から積極的に啓発する必要があるのでは。

答　今後、高齢化や人口減少が進む中で地域コミュニティの中核的役割を担う自治会を維持していくことは大変重要であり、自治会への加入率低下は地域コミュニティの崩壊につながりかねない非常に由々しき事態だと思っている。

各自治会連合会では５年ほど前から加入促進を目的としたチラシを作成し地区の方々へお知らせをしているが、市としても今後の状況を踏まえ40代、50代の方々へどのような手法を用いて自治会加入の必要性を訴えかけていくのが良いのか自治会連合会と協議し、加入促進に努めたい。そのためにも隣近所とのつながりがいかに地域において大切なのかということについて、しっかりと広報していきたいと考えている。

●その他の質疑・質問●

○少子化対策事業について
- 地域支援活動内容は
- 出会い応援事業は

○津市職員行動規範について
- 入庁３年から５年までに地域行事への参加の指導を
- 退職後も積極的に地域貢献を
- 公人としての意識の高揚を

○ペットボトルの回収について
- 公平に市内全域での月２回の回収を　など

▲一志地域の地区自治会総会の様子